

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2023年 第30週（7月24日～7月30日）

今週のコメント

～咽頭結膜熱～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「咽頭結膜熱 増加続く」

第30週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は 2,173例であり、前週比 1.9%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ 2.96、2.28、2.16、1.67、1.19である。

感染性胃腸炎は前週比 11%増の577例で、中河内5.00、南河内4.20、大阪市南部4.06、大阪市北部3.43、三島3.31であった。

ヘルパンギーナは26%減の444例で、南河内3.73、中河内3.05、北河内2.76である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は13%増の422例で、大阪市南部3.44、北河内3.00、南河内2.87であった。

咽頭結膜熱は14%増の326例で、大阪市南部3.89、大阪市西部2.60、大阪市東部2.33である。大阪市南部では2週連続で警報レベルの目安3を超えている。

RSウイルス感染症は18%減の232例で、南河内2.67、大阪市北部2.50、大阪市西部2.30であった。

新型コロナウイルス感染症は9%増の4,399例で定点あたり報告数は14.66である。南河内20.74、堺市16.55、北河内16.34、大阪市南部16.00、大阪市北部15.85であった。第20週以降11週連続で増加が続いている。年齢別では、第1位は10-19歳で16%を占めている。60歳以上の割合は21%であった。

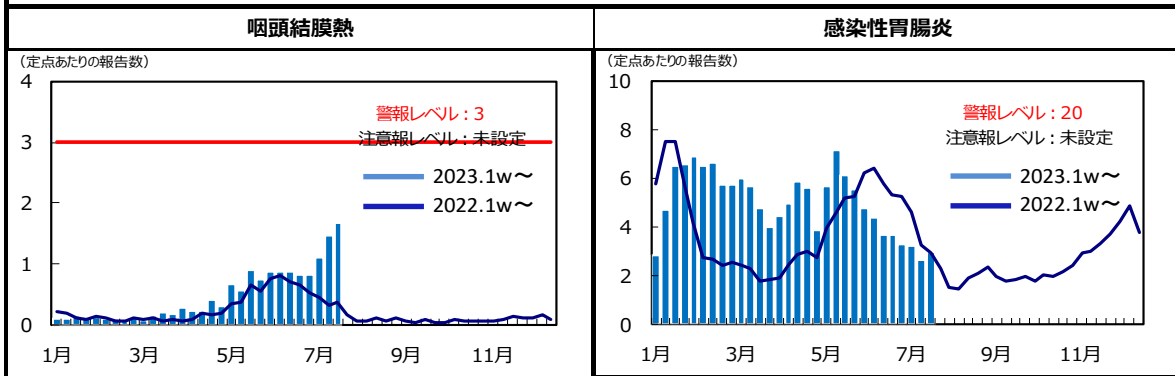


表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2023年 第30週7月24日～7月30日）

第30週の順位	第29週の順位	感染症	2023年 第30週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2022年 第30週の 定点あたり 報告数	2023年第30週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	2	感染性胃腸炎	2.96	11%増	2.86	1歳_14%
2	1	ヘルパンギーナ	2.28	26%減	0.23	1歳_21%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.16	13%増	0.26	5歳_18%
4	4	咽頭結膜熱	1.67	14%増	0.36	3歳_18%
5	5	RSウイルス感染症	1.19	18%減	6.39	1歳未満_38%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	14.66	9%増	-	10-19歳_16%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

[詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降\(大阪府\)』の情報をご覧ください。](#)

[詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症\(大阪府感染症情報センター\)』の情報をご覧ください。](#)

突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

第30週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 過去4年間の同時期に比較し多く発生しています。食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です。

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群（HUS）を起こす場合がある。3-5日の潜伏期において、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋は腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加することから、十分注意が必要である。

[腸管出血性大腸菌感染症（大阪府感染症情報センター）](#)

[腸管出血性大腸菌感染症とは\(国立感染症研究所\)](#)

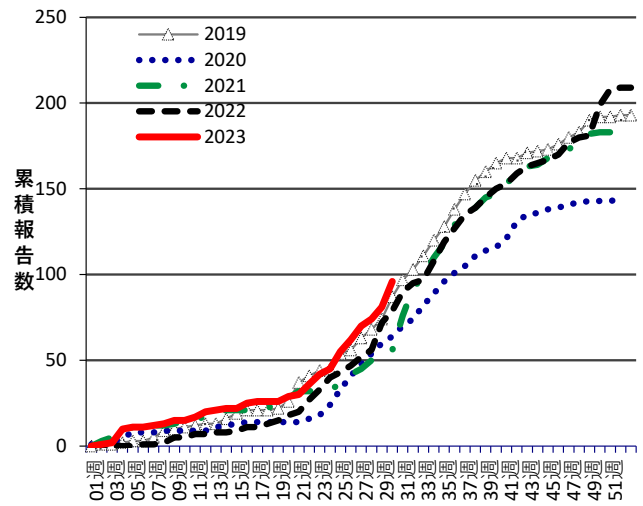


表2. 大阪府全数報告数（2023年 第30週7月24日～7月30日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内累積報告数									
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数	
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	15		1	2	1				1	10	96
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	1			1							73
5類感染症	アメーバ赤痢	1									1	26
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2		2								81
	梅毒	11		1	1	2			1	6	1170	
	百日咳	1								1	28	
結核 (2023年5月分)	結核 新登録患者数：106名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 34名) (府内累積報告数 470名、内 肺・喀痰塗抹陽性 164名)											

(2023年8月1日 集計分)